

事後評価結果（令和5年度）（原案）

事業名	一般国道56号 大方改良 <small>おおがたかいりょう</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局					
起終点	自：高知県幡多郡黒潮町入野立石 至：高知県幡多郡黒潮町入野神ノ前				延長	2.6km					
事業概要	<p>一般国道56号は、高知県高知市を起点として、愛媛県松山市に至る全長約350kmの主要幹線道路であり、高知西南地域の産業・経済・生活を支える大動脈である。このうち大方改良は、道路幅員が狭く歩道がない等、様々な課題を抱えている延長2.6kmの道路改良事業であり、平成30年度に全線開通した。</p>										
事業の目的・必要性	<p>一般国道56号大方改良は、道路幅員が狭く歩道が整備されていない現国道の課題を解消し、歩行者や自転車利用者の安全性向上等を目的としている。</p> <p>また、南海トラフ地震による大規模な被害が想定される黒潮町内において、総合防災拠点である黒潮町役場新庁舎と相俟って、地域住民の避難を支援するとともに、被災後の迅速な救援・啓開活動等を支援する道路である。</p>										
事業概要図											
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	平成11年度	用地着手	平成21年度	供用年	(当初) 平成29年度	変 動	1.06倍		
		都市計画決定	—	工事着手	平成23年度		(実績) 平成30年度				
	事業費	計画時	(名目値) 56億円	実績		(名目値) 68億円	変 動		1.21倍		
			(実質値) 56億円			(実質値) 83億円					
	交通量 (当該路線)	計画時	8,000台/日		実績		8,500台/日		変 動	106%	
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	33.6 → 39.7 Km/h		交通事故減少		51.6 → 9.5件/億台キロ					
	(供用直前年度) H27年度 (供用後年度) R3年度		(供用前現道→供用後現道)		(供用直前年度) H30年度 (供用後年度) R3年						
費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	1.4		総費用	49億円 (事業費: 46億円 維持管理費: 3.9億円 更新費: -億円)		総便益	67億円 (走行時間短縮便益: 55億円 走行経費減少便益: 11億円 交通事故減少便益: 1.0億円)		基準年	平成20年
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	0.3		総費用	114億円 (事業費: 96億円 維持管理費: 18億円 更新費: -億円)		総便益	36億円 (走行時間短縮便益: 33億円 走行経費減少便益: 2.8億円 交通事故減少便益: 0.06億円)		基準年	令和5年
事業遅延によるコスト増	費用増加額		13億円		便益減少額		11億円				

	<p>事業遅延の理由</p> <p>用地交渉の難航による遅延</p>
	<p>交通量変動の理由</p> <p>—</p>
	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の渋滞損失時間が削減【7.7万人時間/年→1.3万人時間/年 83%削減】 ・路線バスの利便性が向上（高知西南交通（路線バス20本/日（上り10本、下り10本）） ・下田の口地区から土佐入野駅までの所要時間が短縮【4分→3分】 ・四万十市役所から高知龍馬空港までの所要時間が短縮【136分→132分】 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市役所から高知市中央卸売市場までの所要時間が短縮【121分→117分】 <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入野地区都市再生整備計画と一体的に整備 <p>④国土・地域のネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町から四万十市までの所要時間が短縮【38分→34分】 <p>⑤個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市役所から四万十市役所までの所要時間が短縮【130分→126分】 ・黒潮町役場が高台に移転し、総合防災拠点として機能 <p>⑥安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本線・現道の死傷事故件数：6.3件/年→2.3件/年 <p>⑦災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道56号は第一次緊急輸送道路に位置づけ <p>⑧地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量が約64.5千t-CO2/年(約7.6%)削減【848.3千t-CO2/年→783.9千t-CO2/年】 <p>⑨生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量が約0.7t-NO2/年(約80.4%)削減【0.9t-NO2/年→0.2t-NO2/年】 ・SPM排出量が約0.04t-SPM/年(約80.2%)削減【0.05t-SPM/年→0.01t-SPM/年】 ・騒音（昼間）が13db減少【約70db⇒約57db】 <p>⑩その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次医療施設（幡多けんみん病院）へのアクセス性が向上 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>—</p>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>—</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>—</p>
<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>—</p>	
<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域（黒潮町）の人口は平成23年度以降減少傾向。 ・近年多発する災害に備え各地で高規格道路ネットワークの整備を推進。平成29年度に佐賀大方道路が事業化。 	
<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>・大方改良の完成供用により、道路幅員が狭く、歩道がない現国道の課題を解消し、「歩行者や自転車利用者の安全性の向上」「安静搬送による救急医療活動の支援」「地域の生活環境の改善」「速度改善による日常生活の支援」「地震発生時における安全な移動経路の確保」など大方改良の整備目的に見合った効果が確認できていることから、今後の事業評価および改善措置の必要性はない。</p>	
<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業前・事業後の整備効果に関して統計指標、ヒアリング等を用いて、整備効果の確認が出来ている。 ・同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は見られない。 	
<p>特記事項</p> <p>特になし</p>	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

様式-1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道56号 大方改良
事業主体	四国地方整備局

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間洪滞損失時間(人・時間)及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 洪滞損失時間の削減量: 6.4万人・時間/年(7.7万人・時間/年⇒1.3万人・時間/年) 洪滞損失時間の削減率: 83%削減 区間b(当該区間/並行区間)について:(一般国道56号) 洪滞損失時間の削減量: 6.4万人・時間/年(7.7万人・時間/年⇒1.3万人・時間/年) 洪滞損失時間の削減率: 83%削減
	□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
	□ 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況	
	■ 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	高知西南交通(路線バス20本/日(上り10本、下り10本))
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	土佐入野駅までの所要時間の短縮 ・下田の口地区～土佐入野駅間の所要時間: 4分→3分(約1分短縮)
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	高知龍馬空港までの所要時間の短縮 ・四万十市役所～高知龍馬空港間の所要時間: 136分→132分(約4分短縮)
物流効率化の支援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	
	■ 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	高知県西南部における農林水産品の流通の利便性向上 ・四万十市役所～高知市中央卸売市場間の所要時間: 121分→117分(約4分短縮)
	□ 現道等における総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	
都市の再生	■ 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	入野地区都市再生整備計画と一体的に整備
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
	□ 中心市街地内で行われたことによる効果	
	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	
	□ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	

国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけあり		
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり		
	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合）		
	<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間が解消		
	<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消		
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	黒潮町～四万十市間のアクセス性向上 ・黒潮町～四万十市間の所要時間：【現況】38分→【大方改良供用時】34分（約4分短縮）	
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況		
	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果		
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上による効果	観光地へのアクセス性向上（四万十川等） ・高知市～四万十市間の所要時間：【現況】130分→【大方改良供用時】126分（約4分短縮）	
	<input checked="" type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	黒潮町役場が高台に移転し、総合防災拠点として機能している	
2.暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化された	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成	
	安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上の状況	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	本線・現道の死傷事故件数：6.3件/年→2.3件/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	本線・現道の死傷事故件数：6.3件/年→2.3件/年
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	国道56号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出量の削減が見込まれる ・CO2排出削減量：64.5千t-CO2/年、CO2排出削減率：7.6%（費用便益分析の対象リンク）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量：0.7t-NO2/年、NO2排出削減率：80.4%（並行する現道区間）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量：0.04t-SPM/年、SPM排出削減率：80.2%（並行する現道区間）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	騒音（昼間）：13db減少（約70db⇒約57db）
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに関する効果	
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	渋滞や駐車・停車車両の影響を受けない広幅員の道路構造となることで二次医療施設（幡多けんみん病院）へのアクセス性が向上

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・BP・その他別
一般国道56号	大方改良	L=2.6km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
4,400	2	四国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和5年度			
単純合計	64億円	35億円		99億円
基準年における 現在価値(C)	96億円	18億円		114億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和5年度			
供用年	令和元年度			
単年便益 (初年便益)	1.4億円	0.12億円	0.00億円	1.6億円
基準年における 現在価値(B)	33億円	2.8億円	0.06億円	36億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	0.3
経済的純現在価値(事業全体)	-78億円
経済的内部収益率(事業全体)	-1.4%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化
事業名：大方改良

様式-3①

(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 大方改良 :2.6km	交通量※1	[台/日]	-	4,400	
	走行時間※2	[分]	-	3	
	走行時間費用※3	[億円/年]	-	2.20	
②主な周辺道路※ 4	一般国道 56号 :2.5km	交通量	[台/日]	5,000	900
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	4.42	0.77
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :0.1km	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.20	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:5.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4.42	3.17	1.25

- ※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 大方改良

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和5年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin~Qmax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)		<input type="checkbox"/>

事業名: 大方改良

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
	冬期の走行速度と交通容量の関係設定の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名: 大方改良

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該区間を管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績に基づき算出		
	更新費	更新費の設定根拠を記載 本事業では未計上		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 大方改良

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.30		2.6		0.77	
-20年目	H11	2.5633	112.0	0.48	1.11				
-19年目	H12	2.4647	110.7	0.19	0.43				
-18年目	H13	2.3699	109.4	0.36	0.80				
-17年目	H14	2.2788	107.6	0.48	1.03				
-16年目	H15	2.1911	106.1	0.91	1.92				
-15年目	H16	2.1068	105.0	2.04	4.16				
-14年目	H17	2.0258	103.7	2.63	5.23				
-13年目	H18	1.9479	103.0	0.10	0.18				
-12年目	H19	1.8730	102.1	0.10	0.18				
-11年目	H20	1.8009	101.6	0.23	0.41				
-10年目	H21	1.7317	100.3	1.48	2.60				
-9年目	H22	1.6651	98.6	1.04	1.79				
-8年目	H23	1.6010	97.2	5.51	9.24				
-7年目	H24	1.5395	96.4	9.06	14.74				
-6年目	H25	1.4802	96.4	2.64	4.13				
-5年目	H26	1.4233	98.7	9.57	14.06				
-4年目	H27	1.3686	100.2	6.53	9.08				
-3年目	H28	1.3159	100.2	9.75	13.04				
-2年目	H29	1.2653	100.5	1.93	2.48				
-1年目	H30	1.2167	100.4	8.86	10.93				
供用開始年次	R1	1.1699	101.2			0.70	0.82		
1年目	R2	1.1249	101.9			0.70	0.79		
2年目	R3	1.0816	101.8			0.70	0.76		
3年目	R4	1.0400	101.8			0.70	0.73		
4年目	R5	1.0000	101.8			0.70	0.70		
5年目	R6	0.9615	101.8			0.70	0.67		
6年目	R7	0.9246	101.8			0.70	0.65		
7年目	R8	0.8890	101.8			0.70	0.62		
8年目	R9	0.8548	101.8			0.70	0.60		
9年目	R10	0.8219	101.8			0.70	0.58		
10年目	R11	0.7903	101.8			0.70	0.55		
11年目	R12	0.7599	101.8			0.70	0.53		
12年目	R13	0.7307	101.8			0.70	0.51		
13年目	R14	0.7026	101.8			0.70	0.49		
14年目	R15	0.6756	101.8			0.70	0.47		
15年目	R16	0.6496	101.8			0.70	0.45		
16年目	R17	0.6246	101.8			0.70	0.44		
17年目	R18	0.6006	101.8			0.70	0.42		
18年目	R19	0.5775	101.8			0.70	0.40		
19年目	R20	0.5553	101.8			0.70	0.39		
20年目	R21	0.5339	101.8			0.70	0.37		
21年目	R22	0.5134	101.8			0.70	0.36		
22年目	R23	0.4936	101.8			0.70	0.35		
23年目	R24	0.4746	101.8			0.70	0.33		
24年目	R25	0.4564	101.8			0.70	0.32		
25年目	R26	0.4388	101.8			0.70	0.31		
26年目	R27	0.4220	101.8			0.70	0.30		
27年目	R28	0.4057	101.8			0.70	0.28		
28年目	R29	0.3901	101.8			0.70	0.27		
29年目	R30	0.3751	101.8			0.70	0.26		
30年目	R31	0.3607	101.8			0.70	0.25		
31年目	R32	0.3468	101.8			0.70	0.24		
32年目	R33	0.3335	101.8			0.70	0.23		
33年目	R34	0.3207	101.8			0.70	0.22		
34年目	R35	0.3083	101.8			0.70	0.22		
35年目	R36	0.2965	101.8			0.70	0.21		
36年目	R37	0.2851	101.8			0.70	0.20		
37年目	R38	0.2741	101.8			0.70	0.19		
38年目	R39	0.2636	101.8			0.70	0.18		
39年目	R40	0.2534	101.8			0.70	0.18		
40年目	R41	0.2437	101.8			0.70	0.17		
41年目	R42	0.2343	101.8			0.70	0.16		
42年目	R43	0.2253	101.8			0.70	0.16		
43年目	R44	0.2166	101.8			0.70	0.15		
44年目	R45	0.2083	101.8			0.70	0.15		
45年目	R46	0.2003	101.8			0.70	0.14		
46年目	R47	0.1926	101.8			0.70	0.13		
47年目	R48	0.1852	101.8			0.70	0.13		
48年目	R49	0.1780	101.8			0.70	0.12		
49年目	R50	0.1712	101.8	-9.45	-1.62	0.70	0.12		
合計				54.46	95.93	35.00	18.30	0.00	0.00
単純事業費計				63.91		35.00		0.00	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：大方改良

年次	年度 (基準年) R5	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①*(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②*(A)	③	現在価値 ③*(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	R1	0.99550	0.98483	1.00794	0.99465	1.1699	101.2	1.02	0.39	0.04	1.44	1.70	0.10	0.02	0.00	0.12	0.14	0.00	0.00	1.56	1.84
1年目	R2	0.99548	0.98460	1.00787	0.99462	1.1249	101.9	1.01	0.38	0.04	1.43	1.61	0.10	0.02	0.00	0.12	0.13	0.00	0.00	1.55	1.75
2年目	R3	0.99546	0.98436	1.00781	0.99459	1.0816	101.8	1.01	0.38	0.04	1.42	1.54	0.09	0.02	0.00	0.12	0.13	0.00	0.00	1.54	1.67
3年目	R4	0.99544	0.98411	1.00775	0.99456	1.0400	101.8	1.00	0.37	0.04	1.41	1.47	0.09	0.02	0.00	0.12	0.12	0.00	0.00	1.53	1.59
4年目	R5	0.99542	0.98385	1.00769	0.99453	1.0000	101.8	1.00	0.36	0.04	1.40	1.40	0.09	0.02	0.00	0.12	0.12	0.00	0.00	1.52	1.52
5年目	R6	0.99540	0.98359	1.00763	0.99450	0.9615	101.8	0.99	0.36	0.04	1.39	1.34	0.09	0.02	0.00	0.12	0.11	0.00	0.00	1.51	1.45
6年目	R7	0.99538	0.98331	1.00758	0.99447	0.9246	101.8	0.99	0.35	0.04	1.38	1.28	0.09	0.02	0.00	0.11	0.11	0.00	0.00	1.50	1.39
7年目	R8	0.99535	0.98303	1.00752	0.99444	0.8890	101.8	0.98	0.35	0.04	1.37	1.22	0.09	0.02	0.00	0.11	0.10	0.00	0.00	1.49	1.32
8年目	R9	0.99533	0.98274	1.00746	0.99441	0.8548	101.8	0.98	0.34	0.04	1.36	1.16	0.09	0.02	0.00	0.11	0.10	0.00	0.00	1.48	1.26
9年目	R10	0.99531	0.98243	1.00741	0.99438	0.8219	101.8	0.98	0.33	0.04	1.35	1.11	0.09	0.02	0.00	0.11	0.09	0.00	0.00	1.47	1.20
10年目	R11	0.99529	0.98212	1.00735	0.99435	0.7903	101.8	0.97	0.33	0.04	1.34	1.06	0.09	0.02	0.00	0.11	0.09	0.00	0.00	1.45	1.15
11年目	R12	0.99527	0.98179	1.00730	0.99432	0.7599	101.8	0.97	0.32	0.04	1.33	1.01	0.09	0.02	0.00	0.11	0.08	0.00	0.00	1.44	1.10
12年目	R13	0.99496	0.98821	1.00584	0.99507	0.7307	101.8	0.96	0.32	0.04	1.32	0.97	0.09	0.02	0.00	0.11	0.08	0.00	0.00	1.43	1.05
13年目	R14	0.99494	0.98807	1.00581	0.99505	0.7026	101.8	0.96	0.32	0.04	1.31	0.92	0.09	0.02	0.00	0.11	0.08	0.00	0.00	1.43	1.00
14年目	R15	0.99491	0.98793	1.00577	0.99502	0.6756	101.8	0.95	0.31	0.04	1.30	0.88	0.09	0.02	0.00	0.11	0.07	0.00	0.00	1.42	0.96
15年目	R16	0.99489	0.98778	1.00574	0.99500	0.6496	101.8	0.95	0.31	0.04	1.30	0.84	0.09	0.02	0.00	0.11	0.07	0.00	0.00	1.41	0.91
16年目	R17	0.99486	0.98763	1.00571	0.99497	0.6246	101.8	0.94	0.30	0.04	1.29	0.80	0.09	0.02	0.00	0.11	0.07	0.00	0.00	1.40	0.87
17年目	R18	0.99483	0.98747	1.00567	0.99495	0.6006	101.8	0.94	0.30	0.04	1.28	0.77	0.09	0.02	0.00	0.11	0.06	0.00	0.00	1.39	0.83
18年目	R19	0.99481	0.98731	1.00564	0.99492	0.5775	101.8	0.93	0.30	0.04	1.27	0.73	0.09	0.02	0.00	0.11	0.06	0.00	0.00	1.38	0.80
19年目	R20	0.99478	0.98715	1.00561	0.99489	0.5553	101.8	0.93	0.29	0.04	1.26	0.70	0.09	0.01	0.00	0.11	0.06	0.00	0.00	1.37	0.76
20年目	R21	0.99475	0.98698	1.00558	0.99487	0.5339	101.8	0.92	0.29	0.04	1.25	0.67	0.09	0.01	0.00	0.11	0.06	0.00	0.00	1.36	0.73
21年目	R22	0.99472	0.98681	1.00555	0.99484	0.5134	101.8	0.92	0.28	0.04	1.25	0.64	0.09	0.01	0.00	0.10	0.05	0.00	0.00	1.35	0.69
22年目	R23	0.99094	0.99183	1.00003	0.99243	0.4936	101.8	0.91	0.28	0.04	1.23	0.61	0.09	0.01	0.00	0.10	0.05	0.00	0.00	1.34	0.66
23年目	R24	0.99086	0.99176	1.00003	0.99237	0.4746	101.8	0.90	0.28	0.04	1.22	0.58	0.08	0.01	0.00	0.10	0.05	0.00	0.00	1.33	0.63
24年目	R25	0.99077	0.99169	1.00003	0.99231	0.4564	101.8	0.89	0.28	0.04	1.21	0.55	0.08	0.01	0.00	0.10	0.05	0.00	0.00	1.32	0.60
25年目	R26	0.99069	0.99162	1.00003	0.99225	0.4388	101.8	0.88	0.28	0.04	1.20	0.53	0.08	0.01	0.00	0.10	0.04	0.00	0.00	1.31	0.57
26年目	R27	0.99060	0.99155	1.00003	0.99219	0.4220	101.8	0.88	0.27	0.04	1.19	0.50	0.08	0.01	0.00	0.10	0.04	0.00	0.00	1.29	0.55
27年目	R28	0.99051	0.99148	1.00003	0.99213	0.4057	101.8	0.87	0.27	0.04	1.18	0.48	0.08	0.01	0.00	0.10	0.04	0.00	0.00	1.28	0.52
28年目	R29	0.99042	0.99141	1.00003	0.99207	0.3901	101.8	0.86	0.27	0.04	1.17	0.46	0.08	0.01	0.00	0.10	0.04	0.00	0.00	1.27	0.50
29年目	R30	0.99033	0.99133	1.00003	0.99200	0.3751	101.8	0.85	0.27	0.04	1.16	0.44	0.08	0.01	0.00	0.10	0.04	0.00	0.00	1.26	0.47
30年目	R31	0.99023	0.99126	1.00003	0.99194	0.3607	101.8	0.84	0.26	0.04	1.15	0.41	0.08	0.01	0.00	0.10	0.03	0.00	0.00	1.25	0.45
31年目	R32	0.99014	0.99118	1.00003	0.99187	0.3468	101.8	0.83	0.26	0.04	1.14	0.40	0.08	0.01	0.00	0.10	0.03	0.00	0.00	1.24	0.43
32年目	R33	0.99004	0.99110	1.00003	0.99181	0.3335	101.8	0.83	0.26	0.04	1.13	0.38	0.08	0.01	0.00	0.09	0.03	0.00	0.00	1.23	0.41
33年目	R34	0.98994	0.99102	1.00003	0.99174	0.3207	101.8	0.82	0.26	0.04	1.12	0.36	0.08	0.01	0.00	0.09	0.03	0.00	0.00	1.21	0.39
34年目	R35	0.98984	0.99094	1.00003	0.99167	0.3083	101.8	0.81	0.25	0.04	1.11	0.34	0.08	0.01	0.00	0.09	0.03	0.00	0.00	1.20	0.37
35年目	R36	0.98973	0.99086	1.00003	0.99160	0.2965	101.8	0.80	0.25	0.04	1.10	0.33	0.08	0.01	0.00	0.09	0.03	0.00	0.00	1.19	0.35
36年目	R37	0.98962	0.99077	1.00003	0.99153	0.2851	101.8	0.79	0.25	0.04	1.09	0.31	0.07	0.01	0.00	0.09	0.03	0.00	0.00	1.18	0.34
37年目	R38	0.98952	0.99069	1.00003	0.99146	0.2741	101.8	0.78	0.25	0.04	1.08	0.29	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.17	0.32
38年目	R39	0.98941	0.99060	1.00003	0.99138	0.2636	101.8	0.78	0.25	0.04	1.06	0.28	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.16	0.30
39年目	R40	0.98929	0.99051	1.00003	0.99131	0.2534	101.8	0.77	0.24	0.04	1.05	0.27	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.14	0.29
40年目	R41	0.98918	0.99042	1.00003	0.99123	0.2437	101.8	0.76	0.24	0.04	1.04	0.25	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.13	0.28
41年目	R42	0.98906	0.99032	1.00003	0.99116	0.2343	101.8	0.75	0.24	0.04	1.03	0.24	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.12	0.26
42年目	R43	0.98894	0.99023	1.00003	0.99108	0.2253	101.8	0.74	0.24	0.04	1.02	0.23	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.11	0.25
43年目	R44	0.98881	0.99013	1.00003	0.99100	0.2166	101.8	0.73	0.23	0.04	1.01	0.22	0.07	0.01	0.00	0.09	0.02	0.00	0.00	1.10	0.24
44年目	R45	0.98869	0.99004	1.00003	0.99092	0.2083	101.8	0.73	0.23	0.04	1.00	0.21	0.07	0.01	0.00	0.08	0.02	0.00	0.00	1.09	0.23
45年目	R46	0.98856	0.98993	1.00003	0.99083	0.2003	101.8	0.72	0.23	0.04	0.99	0.20	0.07	0.01	0.00	0.08	0.02	0.00	0.00	1.08	0.22
46年目	R47	0.98842	0.98983	1.00003	0.99075	0.1926	101.8	0.71	0.23	0.04	0.98	0.19	0.07	0.01	0.00	0.08	0.02	0.00	0.00	1.06	0.20
47年目	R48	0.98829	0.98973	1.00003	0.99066	0.1852	101.8	0.70	0.22	0.04	0.97	0.18	0.07	0.01	0.00	0.08	0.02	0.00	0.00	1.05	0.19
48年目	R49	0.98815	0.98962	1.00003	0.99057	0.1780	101.8	0.69	0.22	0.04	0.96	0.17	0.07	0.01	0.00	0.08	0.01	0.00	0.00	1.04	0.19
49年目	R50	0.98801	0.98951	1.00003	0.99048	0.1712	101.8	0.68	0.22	0.04	0.95	0.16	0.06	0.01	0.00	0.08	0.01	0.00	0.00	1.03	0.18
合計								43.60	14.31	2.11	60.02	33.38	4.10	0.73	0.20	5.03	2.79	0.11	0.06	65.16	36.23

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	大方改良	2	2.6 km

■事業費内訳 <全体事業費>

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				3,064	
	改良費				2,475	
		土工	m3	309,648	361	切土、盛土、残土処理土
		軟弱地盤改良工	m3	40,190	261	安定処理工(BH混合)、浅層混合処理工
		液状化対策工	式	1	162	D・BOX工法
		法面工	m2	9,188	35	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	812	補強土壁、重力式擁壁、L型擁壁、大型ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,639	40	
		函渠工	m	489	231	
		排水工	m	13,330	338	
		中央分離帯工	m	-	-	
		雑工	式	1	235	ゴム堰等
	橋梁費				214	
		100m以上	m	-	-	
		100m未満	m	88	214	PC橋(2橋)、鋼橋(1橋)
	舗装費				319	
		車道舗装	m2	43,924	252	
		歩道舗装	m2	21,561	67	
		側道,取合舗装	m2	-	-	
		コンクリート舗装	m2	-	-	
	付帯施設費				56	
		交通管理施設工	式	1	56	標識工、防護柵工、道路照明等
②	用地及補償費				2,230	
	用地費				945	
		宅地	m2	19,677	492	
		田畑	m2	49,333	444	
		山林・原野	m2	18,157	9	
	補償費		式	1	1,285	
③	間接経費				1,465	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				6,759	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	大方改良	2	2.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.6	450	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,400	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,850	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費	式			
更新費合計	式			

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。